



電動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それに基づき電気工事を行ってください。

安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
● ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
● 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
● 注意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

- 修理技術者以外の人による、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的資格者が工事を行うこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的資格者が工事を行うこと
● アースを確実に取り付けること

警告

- メタルス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること
● レンジフードファンの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラッパなど）と接触しないようにすること
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

注意

- 取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること
● ファンや部品の取り付けは確実にすること
● 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと

取り付け上のお願ひ

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的資格者が行う必要があります。
● 調理器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
● レンジフードファン下部には、潮濕器を絶対に取り付けしないでください。
● 電源コード等の各種コード類は、吊るなどして、レンジフードファン本体や排気ダクト等に接触しないようにしてください。

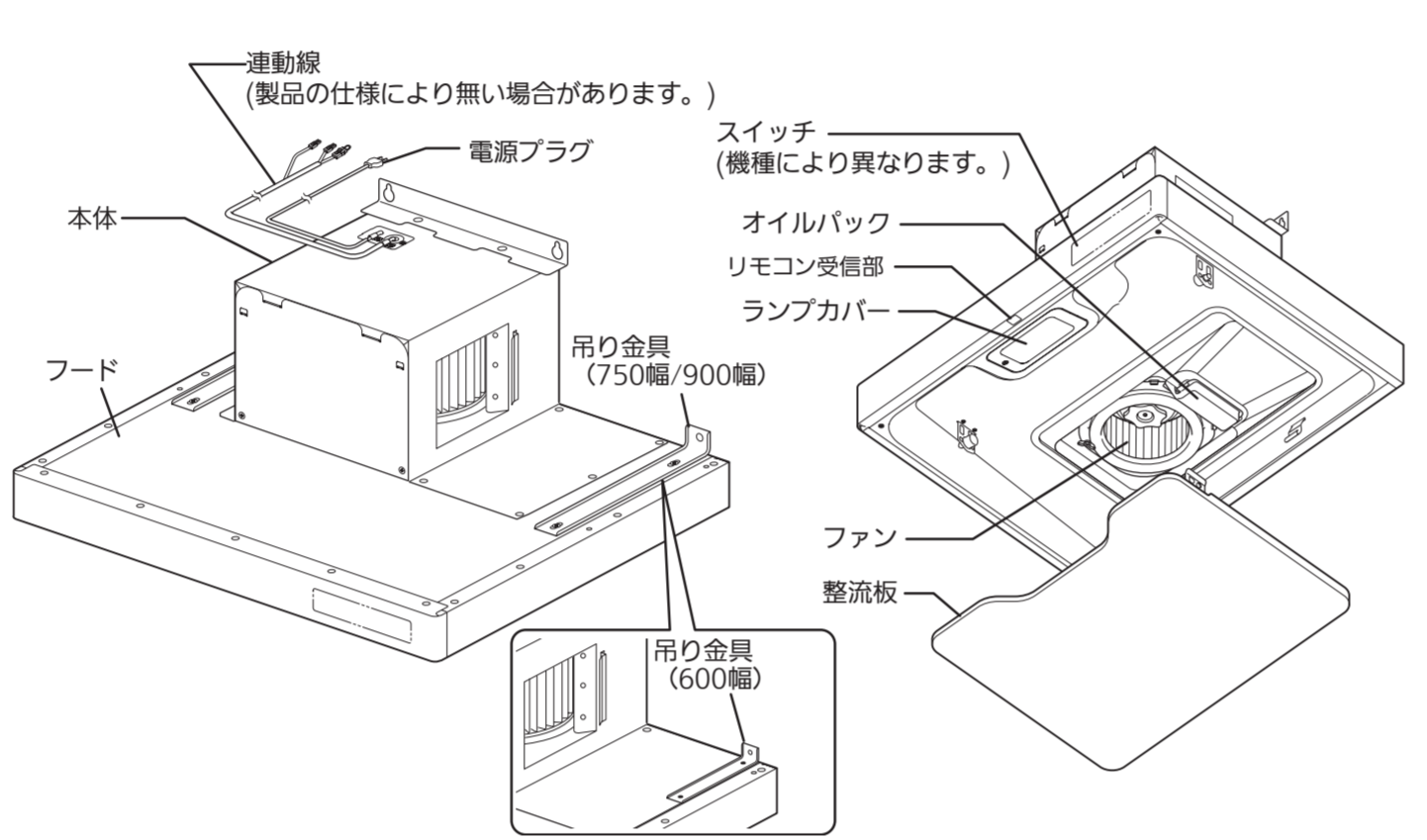
取り付け前の調査と準備

- レンジフードファン本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強板等に確実に行うこと
● 製品を支える強さが不足する場合は、板張りの場合（取付面は必ず不燃処理を行ってください）
● コンクリート、タイル壁の場合
● 土壁の場合

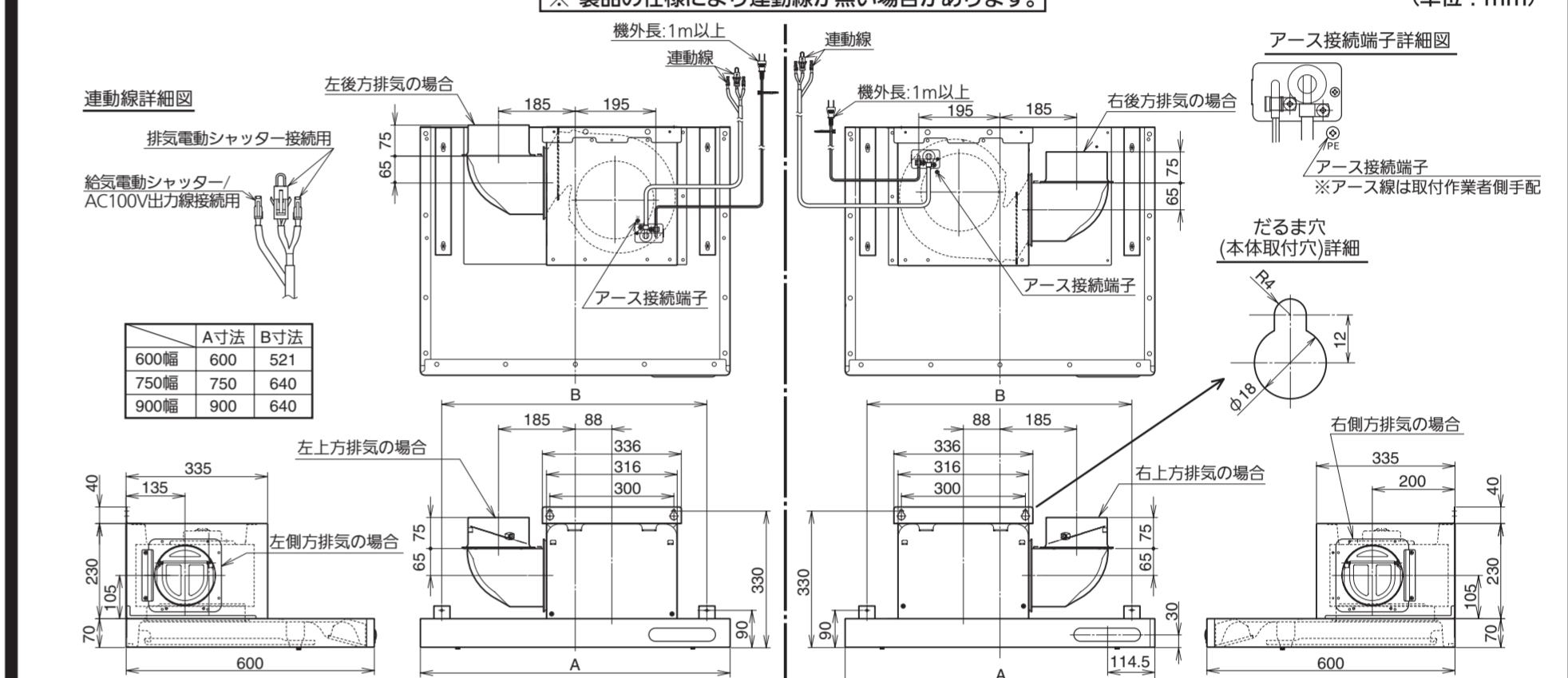
付属品

- 座付ねじ (φ5.1×45) 4本
● 段付ねじ (M4×12) 4本
● ソフトテープ 1本
● 排気口 1個
● L形ダクト 1個

各部の名称



製品寸法図



取り付けかた

1. 付属品の確認

- 製品を取り扱う際は、必ず厚手の手袋をすること
● 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
● 床で作業する場合は、本体及び床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業を行ってください。

2. 排気方向の決定

- 金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けのこと
● 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的資格者が工事を行うこと
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと

3. 排気用部品の準備

以下は右側排気の場合を示します。左側排気の場合は左右対称として見てください。

- 排気口とL形ダクトの接続
● 排気口と本体の接続
● 側方排気の場合
● 上方排気の場合
● 後方排気の場合
● 側方排気の場合
● 別売の中間ダクト (UDS-180) を使用する場合

5. ダクトと排気用部品の接続

- 本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 部品を取り付けは確実にすること
● 排気口とダクトを接続します。
● 別売の中間ダクト (UDS-180) を使用する場合

6. 取扱説明書およびオイルパック 固定テープの取りはずし

- 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。
● 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルパックを固定しているテープをはがします。

7. 電気配線

- 修理技術者以外の人による、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的資格者が工事を行うこと
● アースを確実に取り付けること

8. 試運転

- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
● 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
● 運転時、各連動の排気が正しく行われていることを確認してください。

9. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱い説明してください。
● 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

取付補足説明書

本製品は、付属の「取付説明書」に対して、以下の点が異なります。
「取付説明書」と併せて、この「取付補足説明書」をお読みください。

■ 取り付け前の調査と準備

本製品は、本体前側を天井から吊れる構造となっております。

吊りボルトの設置を次の通り行ってください。
2本の吊りボルトを製品寸法図を参照して天井部梁に取り付けます。
*吊りボルトはM10（市販品）を使用して下さい。
*吊りボルトは耐荷重200kg/本となるように取り付けてください。

電源用として2極接地極付差込プラグを採用している場合、コンセントは
JIS C8303 2極接地極付差込接続器をご使用ください。



■ 付属品

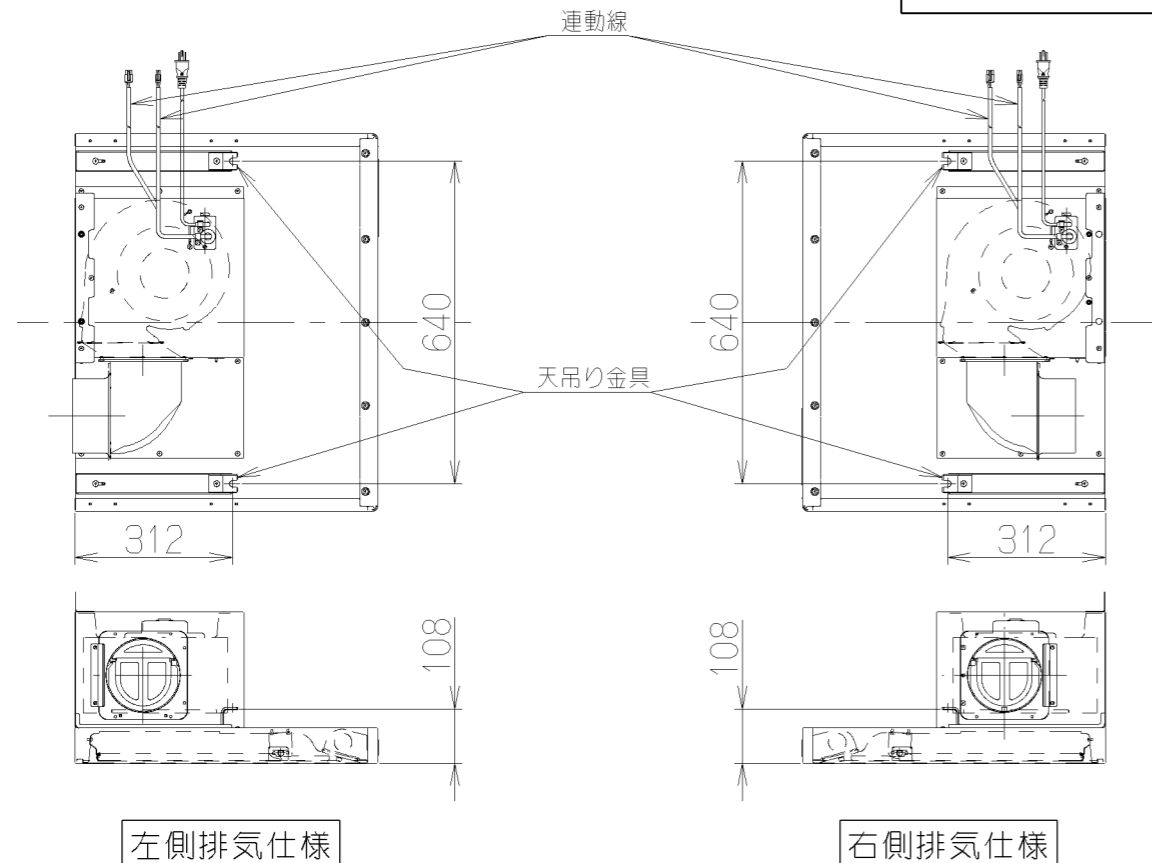
次の部品が取付説明書の付属品に追加されます。

品名	天吊り金具
略図	2個

■ 製品寸法図

本製品の製品寸法図は、天吊り金具があること以外は付属の「取付説明書」と同一です。

製品の仕様により、連動線の有無・種類が異なる場合があります。



■ 本体の取り付け前準備

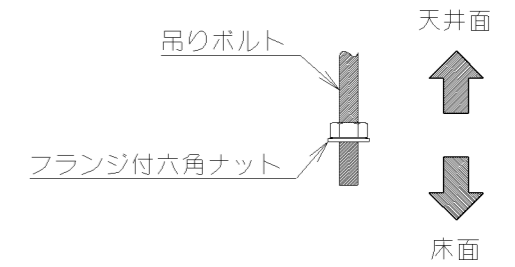
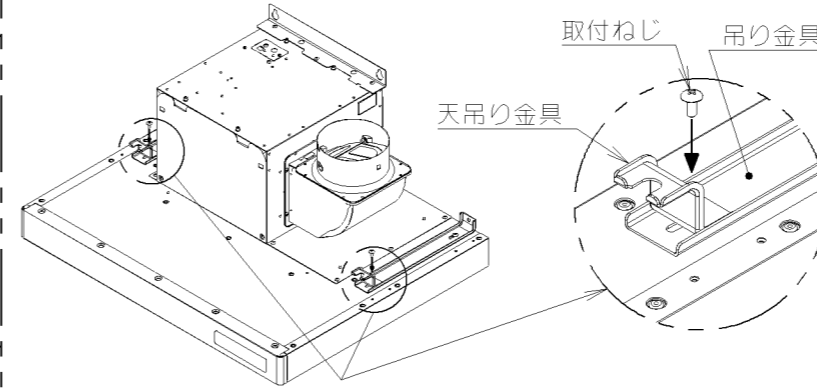
本製品は、本体の取り付け作業前に、次の天吊り用準備が必要となります。

(1) 天吊り金具をフードに取り付けます。

左右の吊り金具前側の取付ねじを外し、
天吊り金具と一緒に再度取り付けます。

(2) 吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。

吊りボルトの上側のフランジ付六角ナットの位置
（天吊り金具取り付け位置）は、製品寸法図を参考に
あらかじめセットしておくことで後作業が容易になります。



■ 本体の取り付け

本体の取り付け作業は、次の通り行ってください。

(1) 本体だるま穴用座付ねじ2本をねじ込みます。

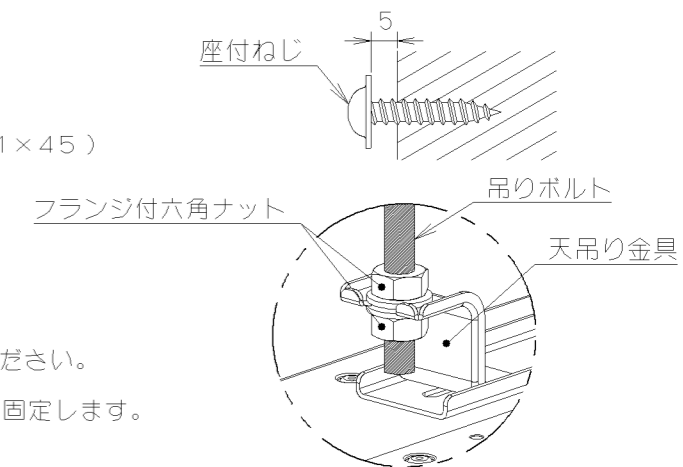
製品寸法図を参照し、だるま穴位置（2ヶ所）に座付ねじ（φ5.1×45）
2本をねじ込み、壁面との隙間5mmまで締め付けてください。

(2) 本体を引っ掛け固定します。

吊りボルトの先端を天吊り金具に通しながら、座付ねじに本体の
だるま穴を引っ掛けした後、しっかり締め付けてください。

お願い 上方排気・側方排気の場合は、
ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

(3) フランジ付き六角ナットで天吊り金具をしっかりと締め付けて固定します。



■ 電源配線

電源接続方式または給気ダンパー出力方式が端子台仕様の場合、

配線工事は次の通り行ってください。（電源接続方式が端子台の場合は、コンセントの設置は必要ありません。）

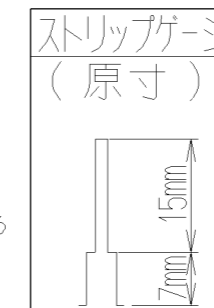
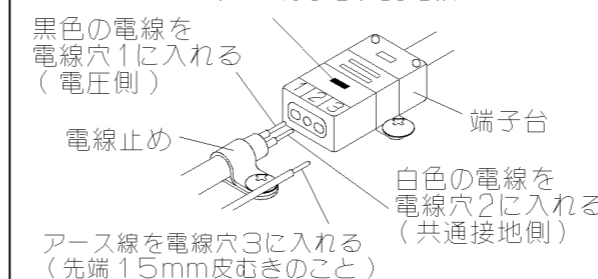
ご注意

- 必ず分電盤のブレーカーを切って作業してください。切らずに行くと感電やケガのおそれがあります。
- 端子台への接続電線は、VVVFφ1.6~2.0の単線を使用し、より線は使用しないでください。
- 接続を間違えないようにしてください。ショートするおそれがあります。
- 電線挿入時は確実に差し込んでください。挿入が不十分な場合、端子部が過熱し火災のおそれがあります。
- 電線の充電部は必ず絶縁処理をしてください。感電のおそれがあります。
- 必ずアース（D種接地工事）をしてください。
- *アース線は配線工事側にて手配し、電源端子台の電線穴3に取り付けてください。

＜電源用端子の接続方法＞

- 電線被覆2本をストリッパゲージに合わせておく。
- 端子台の電線穴に芯線を2本同時に奥まで差し込む。
*下図を参照し、電圧側線と共通接地側線、アース線の
差込位置をご確認の上差し込んでください。
*差し込みが止まるまで挿入して下さい。
- 充電部の露出がないことを確認し、電線止めにて電線を固定する。
- アース線を先端15mm皮むきし、電線穴3に差し込む。

*電線ははずすときはマイナスドライバーで
押しながら電線を引き抜く。



＜給気ダンパー用端子の接続方法＞

- 電線被覆2本をストリッパゲージに合わせておく。
- 電線穴に芯線を2本同時に奥まで差し込む。
（表示棒が下がることを確認してください）
- 充電部の露出がないことを確認し、電線止めにて電線を固定する。

*電線ははずすときはマイナスドライバーなどで
押しながら電線を引き抜く。